



エゾハタザオ	<i>Catolobus pendula</i> (L.) Al-Shehbaz	絶滅危惧 I 類
		アブラナ科
選定理由	既知の生育地で生育の条件が明らかに悪化しており、個体数が危機的水準まで減少している。	<p>写真(清水英彦)</p> 
形態の特徴	越年草。茎は直立して高さ20-100cmになり、上部で分枝する。下部の葉は長楕円形あるいは長楕円状卵形、上部の葉は披針形。花期は6-8月。枝先の総状花序に白色の小さな十字花をつける。長角果は長さ3-10cmの細長い線形で垂れ下がる。	
生態的特徴	山野に生える。	
分布状況	北海道、本州中部以北。東アジア、ヨーロッパに広く分布する。県内では県南の西部に生育する。	
減少要因	本種の分布域は県南の1地域に限定されており、もともと生育個体数も少ない。また、その再生産能力を上回る採取圧に曝されている。	
保全対策	生育地を公表する必要がある場合は、生育場所を特定することのないような配慮が必要である。また、生育地の保全に配慮が望まれる。	
特記事項		
参考文献	佐竹義輔ほか編「日本の野生植物 草本Ⅱ」平凡社(1982)	
		

文責:佐藤和良